

## 電機労働者懇談会

Electric Labor and Industry Correspondence

2022年2月10日

No 410

発行者：ELIC編集委員会谷口利男  
142-0043 東京都品川区二葉2-20-8  
電話 (03) 6421-5323 染野ビル2F  
郵便振替00130-3-358078ELIC編集委員会

# ELIC

1部100円

# ジョブ型賃下げを許すな！

## リモート含め44人が出席

電機労働者懇談会（電機懇）は電機・情報ユニオンとの共催で、1月22日（土）午後1時15分～4時50分にかけて都内「北多摩西教育会館」3F大会議室にて、「22春闘、電機の集い」を開催しました。この集いには、14企業30職場・5団体から44人（昨年52人）が参加し、リモートは28人でした。



## 22春闘で大幅賃上げと時給1500円

司会は電機懇相原事務局次長がつとめ、電機懇今井節生代表は主催者挨拶で「22春闘で、暮らしを守る大幅賃上げ要求を、全国最低賃金を時給1500円の実現、ジョブ型導入で賃下げなどの働き方改悪とたたかおう」と強調しました。

電機・情報ユニオンの米田委員長が連帯挨拶で「職場に自由と民主主義を確立し、降格や減給される労働者へのリストラやハラスメントをなくして、人間らしく働ける様に」と訴えました。

第1部は、電機懇林事務局次長が、22春闘「要求アンケート」210枚（昨年226枚）の集計結果の特徴について「生活の苦しさ」が58%（昨年54%）、老後・年金不安が47%、不透明な査定40%、今年新設の不足している時間では「趣味娯楽が49%」と報告しました。

続いて、電機懇「22春闘提言」（2Pに骨子掲載）は電機懇井坂正敏政策委員長がポイント報告を行い、電機・情報ユニオンの「22春闘方針」を森英一書記長が報告しました。

## 賃上げ春闘で減給される制度の廃止を

第2部は、電機懇井坂政策委員長が電機労連の

第7次賃金政策を詳細に説明しました。

職場報告は、日立から職場内での人減らしリストラと春闘で賃下げ要求を改善させる。富士通から再雇用での処遇が地域最賃の時給にへばり付いている、沖電気からリストラが続いており反撃する取り組みをしている、ルネサスからは年間一時金が最低と最高に10倍ある格差を改善させる、三菱電機から、門前ビラにQRコードを掲載して職場実態を掴んでいると報告されました。

最後に伊草さんは裁判勝利判決とNEC控訴断念をさせて休職期間満了での解雇が違法が確定となりこれから職場復帰を実現させる闘いをします。

討論は4人がおこない、井坂さんがまとめました。

閉会挨拶は、谷口事務局長が行い、22春闘での奮闘を呼びかけ、団結がんばろう三唱で閉めました。

## 今月号の紙面

- ① 22春闘「電機の集い」を開催
- ② 22春闘・電機懇提言のポイント
- ③ 22春闘で「経団連」包囲行動
- ④ 「ジョブ型」雇用で良いですか？
- ⑤ 「東芝の会」新春の年次総会開催
- ⑥ ラプラス「白根大風合戦」平松さん
- ⑦ 電機情報ユニオン、青年コーナー
- ⑧ 22春闘統一ビラ配布。春闘集業界団体要請行動。集積回路。